

洞爺湖マラソン 登録最多 7,897人



春本番の洞爺湖を駆け抜ける

第41回洞爺湖マラソン2015

15（室蘭陸上競技協会、北海道新聞社など主催）が、5月17日洞爺湖畔の各コースで行われました。当日は、スタート時に雨が降る肌寒い中、8時30分に最初の2キロコースの参加者が元気にスタート。続いて当日のメインとなるフルマラソン参加者が、虻田

中学校吹奏楽部のファンファーレの応援を受け、9時30分に雨が残る湖畔コースに飛び出しました。20分後には10キロ参加者、その10分後には5キロ参加者が、雨のあがった各コースをスタートしました。大会では、虻田、洞爺の両高校生をはじめ、室蘭北斗文化学園、酪農学園大学の各学

生や地域住民らが、沿道での給水やゴール地点などでボランティア協力。ランナー一人ひとりに、激励の声援と拍手を送り続けました。大会に先立って16日、洞爺湖文化センターで前夜祭が開かれ、5連覇の偉業を達成した斉藤太一さんに箱根のホテル宿泊券が贈呈されました。



工藤政年・友美夫妻（虻田6区）
友美さんの初完走を支えようと政年さんが伴走を務め、フルマラソンに参加。今回幾度かの挑戦で達成できなかった完走を実現。友美さんは「辛かったけど、初完走できてよかった」と嬉しそうに話しました。



奈須川伸也さん・敦子さん親子（月浦区）
伸也さんと雅希くん（温泉小2年）、敦子さんと珠希さん（温泉小4年）のペアで、親子2キロに参加。伸也さんチームが2位に入賞。「家族行事の一つとしてこれからも続けて参加したい」と母親の敦子さんは話しました。



洞爺協会病院ランニング部

毎年洞爺湖マラソンにランニング部として参加。今年は6人参加で4人が完走しました。落合康介部長は「途中温かくなって走りやすかった。自己ベストに近い記録となった」と満足そうに振り返りました。